# 2019 年度　魚住まちづくり協議会　事業報告

## 行事）　～みんなで準備、みんなで楽しく～

●9/21　敬老会　200 名参加
　　演奏、天気予報士・蓬莱大介さんの自助の話
●10/5　うおずみ祭り　700 名参加
　　関係各団体参加で年々来場者が増える
●1/18　左義長　行事復活４年目　500 名参加
　　どんと焼き、餅つき、昔遊びなどみんなで楽しく交流

## 主要全体事業）

・「くすのん」募金　　各行事などで缶バッジ販売
　　着ぐるみ作製へ向けて
・みんな de ごはん　　毎月１回　毎回 30 名ほど参加あり
　　浜西ゆうあい、明石商業高校家庭科
　　明石清水高校、コープこうべなどの協力で実施
　　～みんなで準備、調理、食事、片付け～
・喫茶くすのき　毎週火曜日から金曜日までオープン
　　地域の憩いと交流の場　お菓子付、ドリンク 100 円
　　今年度 11 月からモーニング 200 円でスタート
・映画鑑賞会実施　　月１回開催
　　観たい映画を喫茶くすのきに来られたのお客さんが選んで
　　毎回 20～30 名の参加あり
・17 号池物語　子どもも大人も楽しめる絵本　県助成金活用で発刊
　　小学校４年生授業副読本をして活用
　　明石、東播磨の学校や図書館にも配布

## 校区防災事業）　企画運営グループ「共助 de17」で 16 回会議を行う

・校区防災計画　　１年がかりで計画書が完成　500 部
・避難所・開設運営訓練
　　事前に自治会連絡会、全体会議を開催してから実施
　　２回目の３月８日はコロナ感染対策で中止
・自治会ごとの防災アンケート実施　８自治会
・自治会の会議やイベントでの出前講座、参加
・浜西自治会の要支援者対策事業への参加
　　７名訓練参加を計画してたが中止
　　⇒自治会での見守り・サポート体制づくりは今後も進める
・避難所運営用備品の充実
　　金ヶ崎公園の伐採木を薪として備蓄、高性能水浄化器の購入など

事務局体制）

コミセン施設管理を受託してから事務局７人体制で対応し丸１年が経過、それぞれ業務を分担して大分スムーズに動けるようになってきた。

各部会報告）

・健康・福祉部会

月１回のきずなサロンと月２回の元気アップ体操が部会の主な行事となっています。

今年度は１月の暴風警報発令と３月の新型コロナウィルスにより、中止もありましたが、サロンは 10 回の開催で月平均して総勢 25 名、体操は毎回約 10 名の方の参加がありました。

交流しながら健康を維持することを目的に活動しています。

・安全部会

事業目的は、地域のみんなで、安全安心を肌で感じられるまちづくりを行うことでした。児童の登下校の見守り、学校園内外のパトロールなど保護者、スクールガード、高年クラブ、子ども団体、地域のみんなで行ってきました。危険個所など「みんなでウォッチング」、又、高校生の自転車マナー改善のお願いを両校にしました。

・子ども部会

部会も５年を迎えました。

主に「みんな de お勉強」を中心に活動をしてきました。

まちづくりの活動において子どもはどの部会にも共通して大切な役割を果たす存在です。この節目を機に子ども部会の在り方について考えていきたいと思っています。地域活動の中での子ども達が担う役割は大人が想像する以上に大きく重要です。大切な子ども達が１人でも多くしっかり地域に根付き活躍できる居場所づくりを今後も目指していきたいです。

・自然環境・歴史部会

本年度は、金ヶ崎公園を活用した「夏と秋の親子自然体験・マキ割りなどの里山整備」、魚小校区内の歴史・文化の掘り起こしを目的に、邑美駅家（おうみのうまや）の発掘現場に説明看板を設置しました。

また、部会研修会「龍野城下散策・冬の星空観察会」を開催しました。

別紙様式第１１号

# 詳細事業実績報告書

<table>
<tr><td>事業番号</td><td>①</td><td>申請事業名</td><td>うおずみまつり</td></tr>
<tr><td>具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）</td><td colspan="3">2019 年 10 月 5 日（土）<br>魚小運動場<br>うおずみ祭り<br>幼稚園の演目にはじまり明石明商のダンス部による演技、魚住東中学校による<br>ブラスバンドの演奏によるオープニング<br>自治会や協力団体、まちづくり応援隊による模擬店の開催をした<br><br>うおずみ祭り　650 人</td></tr>
<tr><td>成果と課題</td><td colspan="3">5 年目を迎えうおずみ祭りの認知度も上がってきており参加者は増えている。<br><br>もう少し模擬店が増えるとより活気がでてくると思う。<br><br>今年度は「まつり」と「敬老会」を別々に開催することにより、タイムスケジュール的にも余裕があって良かった。</td></tr>
</table>

別紙様式第１１号

# 詳細事業実績報告書

<table>
<tr><td>事業番号</td><td>②</td><td>申請事業名</td><td>敬老会</td></tr>
<tr><td>具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）</td><td colspan="3">2019 年 9 月 21 日（土）<br>魚住小学校体育館<br>参加者　　約 200 人<br>～催し～<br>あかねヶ丘学園　器楽クラブ演奏<br>気象予報士・防災士　蓬莱大介さん講演「気象災害から身を守るために」<br><br>～参加者の声～<br>・懐かしい曲ばかりで、昔のことが思い返された。<br>・周りの人と一緒に歌うことができて楽しかった<br>・気象災害から身を守るために自分でできることを考えさせられた<br>・日常の生活で知ることはできないがお話を聴いて学ぶことが多くあった</td></tr>
<tr><td>成果と課題</td><td colspan="3">成果<br>・今年度から敬老会と祭りを単独開催する中で多くの参加者が防災などについて学ぶことができてよかった<br>・児童クラブからのプレゼントもあり、子どもたちと高齢者の世代を超える交流ができた<br><br>課題<br>・会場をお祝いの雰囲気にできるようにする演出（飾りなどを用いて）<br>・送迎バスでの急な対応が難しい</td></tr>
</table>

別紙様式第１１号

# 詳細事業実績報告書

<table>
<tr><td colspan="2">事業番号</td><td>③</td><td>申請事業名</td><td>左義長</td></tr>
<tr><td>具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）</td><td colspan="4">2020 年 1 月 18 日（土）<br>魚小運動場<br>・前日に竹を切って組み立てておいた焼き台に、当日地域住民の方々に持ってきて頂きしめ縄や書き初めを燃やした。<br>・魚住東中学校の吹奏楽部の方を招き、当日のオープニングセレモニーを飾って頂いた<br>・明石清水高等学校の生徒の協力で豚汁やぜんざいも順調に振る舞うことができた<br>・今年度も昨年度に続き、こま遊びやけん玉、もちつき体験を実施し多くの方に楽しんでもらうことができた<br>左義長参加者　　約 500 人</td></tr>
<tr><td>成果と課題</td><td colspan="4">成果<br>・左義長も復活から 4 年目を迎え、今年はとてもよい音をたて竹が燃えていった<br>・昔遊びコーナーでは大人も子どもと一緒に楽しむことができており、今後も続けていきたい<br><br>課題<br>・マイク設備を充実させて、参加者にきちんとしたアナウンスが行き渡るように改善策を考えていきたい</td></tr>
</table>

別紙様式第１１号

# 詳細事業実績報告書

| 事業番号 | ④ | 申請事業名 | 校区防災活動費 |
|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等） | 共助 de17　　会議内容<br>7 月 14 日　校区防災訓練開催に向けて<br>地区防災計画書内容検討<br>防災懇談会（1/26 金ヶ崎文化センター、2/2 魚住コミセン、2/9 魚住市民センター）で開催<br>防災全体会議（共助 de17、役員、PTA、自治会担当者）3 回開催（7/2・8/2・2/12）<br>3 月 8 日　校区防災訓練（コロナ拡大で中止）<br>防災たより 2 回発行<br>共助 de17　　開催日時<br>第 1 回　19.06.05　参加者 10 名　　防災懇談会出席者　68 名<br>第 2 回　19.06.19　参加者 12 名<br>第 3 回　19.07.09　参加者 16 名　　防災全体会議　　参加者　約 40 名<br>第 4 回　19.07.18　参加者 13 名<br>第 5 回　19.08.21　参加者 10 名<br>第 6 回　19.09.18　参加者 15 名<br>第 7 回　19.10.16　参加者 14 名<br>第 8 回　19.11.06　参加者 14 名<br>第 9 回　19.12.11　参加者 13 名<br>第 10 回 20.01.10　参加者 11 名<br>第 11 回 20.02.05　参加者 12 名<br>第 12 回 20.02.25　参加者 12 名<br>第 13 回 20.03.18　参加者 9 名 |
| 成果と課題 | 7 月 14 日　校区防災訓練　参加者約 200 名<br>避難所開設運営訓練、所定の場所に落ち着き、今後の避難所生活についてアンケート実施<br>「しばらく避難所で生活するなら何が心配か」を話し合った<br>→トイレ、水、プライバシーについての不安が多く上がってきた<br>地区防災計画書　1 月発行　1 年半かけて作成<br>→市としての取り上げ方、地域での活用と地域住民への広報が今後の課題<br>防災懇談会　主に自助・共助に焦点をあて、より具体的に情報を発信<br>3 ヶ所で行うことによってそれぞれの地区の問題と課題がでてきた<br>→内容については防災たよりでフィードバックを行う<br>防災全体会議<br>自治会の防災担当者の役割の再確認<br>毎年担当者が変わる自治会が多く引継ぎが課題<br>3 月 8 日　校区防災訓練はコロナの影響で中止<br>今回は地域住民だけで総務情報班を作り初動対応を行う予定だった<br>今後、地域メンバーの人数確保とそのレベル合せがこれからの課題 |

別紙様式第１１号

# 詳細事業実績報告書

| 事業番号 | ⑤ | 申請事業名 | 防災訓練 |
|---|---|---|---|

**具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）**

7 月 14 日（日）　校区防災訓練　参加者約 200 名

避難所開設運営訓練、所定の場所に落ち着き、今後の避難所生活についてアンケート実施

「しばらく避難所で生活するなら何が心配か」を話し合った

→トイレ、水、プライバシーについての不安が多く上がってきた

避難所開設運営にむけてのメンバーには【行動指示書】を配布し、指示書のように行動してスムーズに避難所開設にむけて動けるかの検証も兼ねる

→今後更に精度をあげてそれぞれの班も連携をとっていくことが必要であるということがわかった

避難所開設にむけての準備

グループワークに取り組む様子

2020 年 3 月 8 日（日）防災訓練を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためやむなく訓練を中止にした。

**成果と課題**

～成果～

災害時にも自分でできる対策があるということを多くの人にわかってもらえるように、防災訓練終了後防災だよりを発行した

今までに気づかなかったことを今回の訓練を通して知るひとつの機会となってよかったという声を頂いた

今のまま災害がきてしまうと何の対策もできていないので、不安しかないとう声もあり、災害を自分事として捉えてくれる人が増えてきつつあると感じられた

～課題～

今後も自分たちで災害を軽減できるようにしていく【自助の部分】ためにも多くの人に様々な手段を用いて広報していく必要がある

また、各自治会によっても状況が異なっているため、校区としても各自治会の状況把握などに努めていく必要がある

別紙様式第１１号

# 詳細事業実績報告書

| 事業番号 | ⑨ | 申請事業名 | 健康・福祉部会 |
|---|---|---|---|

**具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）**

①きずなサロンを毎月第２水曜日 10 時から 11 時 30 分に喫茶くすのきで開催

| 実施日 | テーマ | 参加者数 |
|---|---|---|
| 4 月 10 日 | 消費生活講座　消費者被害を防ごう | 22 名 |
| 5 月 8 日 | 歌って元気に　心も　体も | 32 名 |
| 6 月 12 日 | 災害に備える防災研修 | 18 名 |
| 7 月 10 日 | 折り紙教室（コマ） | 31 名 |
| 8 月 21 日 | ACP って知っていますか | 20 名 |
| 9 月 11 日 | 思い出のネクタイで作るネックレス | 29 名 |
| 10 月 9 日 | 健康ソムリエプロジェクト | 25 名 |
| 11 月 3 日 | 皆で楽しくマジックを　Part2 | 25 名 |
| 12 月 11 日 | ♪歌って元気に！　心も・体も！ | 18 名 |
| 1 月 8 日 | 折り紙教室（干支） | 暴風警報のため中止 |
| 2 月 12 日 | 楽しく能力アップ　ゆび編みにチャレンジ | 32 名 |
| 3 月 11 日 | 知って安心　介護の知識 | 新型コロナウィルスのため中止 |

②「元気アップ体操」H26 年より継続　毎月第２・第４木曜日　13 時 30 分から 15 時
コミセン会議室で開催　　参加者数　７名～１０名

③うおずみ祭り敬老会でまちなかゾーン会議と共催でブースを設け、健康測定(血圧測定・握力測定)、敏捷性テストを実施した。

④まちなかゾーン会議主催の「駅前健康祭り」に参画し、バルーンアートと敏捷性テストを分担した。

**成果と課題**

①きずなサロンは参加者の増減はあるが着実に定着してきていると思われる。
健康・福祉に役立ち、且つ参加者の興味を引くと思われるテーマの選定に知恵を絞りたい。そのためには新しい部会メンバーの参加も是非必要と考える。

②元気アップ体操（コミセン会議室）は継続運営されており、地域の人の健康増進に役立っている。今後ともチラシや掲示板等で参加者の増加に取り組む。

③体操拠点設置啓発活動は年度後半のコロナ騒ぎで取り組めていない。今年度もじっくり取り組んでいきたい。

④「うおずみ祭り」や「駅前健康祭り」でのまちなかゾーン会議との協働は部会の活動範囲を広げる観点や、いろんなところにアンテナを張って情報を得るために必要と考える。

別紙様式第１１号

# 詳細事業実績報告書

<table>
<tr><td>事業番号</td><td>⑦</td><td>申請事業名</td><td>安全部会</td></tr>
<tr><td>具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）</td><td colspan="3">事業目的：・誰もが安全安心を肌で感じられるまちづくり<br>・重点ポイントは、地域のみんなで活動し安全安心の環境をつくること<br><br>1　みんなで見守る活動<br>〇スクールガード活動<br>・登下校見守り・学校園のパトロール（火～金）・学校行事の応援（まちたんけん）<br>・登録　35 人　年間 43 週<br>〇みんなでウオッチング<br>・不審者情報、危険個所、危険行為（例えば自転車マナー）の共有<br>・明石清水高校・明石商業高校へ自転車マナーについて申し入れ（2019.11）<br>〇青パト防犯（第 1 水曜日）<br><br>2　学校園、地域諸団体との連携<br>〇安全部会の開催（月 1 回情報の共有：学校、高年クラブ、自治会、スクールガード、応援隊）<br>〇明石市、明石警察、県、魚住 4 校区<br>・子どもを守る安全会議（2 回）魚住町防犯情報連絡会議（年 6 回）ひょうご安全研修セミナー（2 回）<br>・ひょうごまちづくり推進委員（2 名）<br>3　まち協事業、行事への参加<br>〇うおずみ祭り、左義長他</td></tr>
<tr><td>成果と課題</td><td colspan="3">〇成果<br>・年間を通じて、学校園を中心に通学路での安全安心が維持できた<br>・安全部会の開催で、地域安全安心情報の共有、それに基づき明石清水高校・明石商業高校へ<br>の要望、道路整備課への申し入れを行った<br>・他地域、行政との連携もできた<br>〇課題<br>・PTA（魚小・魚幼）との連携が出来なかった<br>・地域安全マップ（新）の作成に至らなかった<br>・地域のみんなで活動では、新規活動に取り組めなかった</td></tr>
</table>

別紙様式第１１号

# 詳細事業実績報告書

| 事業番号 | ⑧ | 申請事業名 | 子ども部会 |
|---|---|---|---|

**具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）**

・「みんな de おべんきょう」　毎週水曜日　15 時～16 時半　コミセン会議室
小 1～小 6 までの 60 名の児童を対象
宿題を中心にドリルを行う
明石清水高校「人と環境類型」の生徒、地域ボランティアの方々と運営をする。
長期休暇中も基本行う

・「里山ジュニアくらぶ」　毎月 1 回　第 1 土曜日　　9 時～15 時
自然・環境・歴史部会との協賛事業で会員 2 名と部会メンバーが対象
午前中昆虫や植物の観察をする、午後からは里山整備を主に行う
エコウィングあかしの協力、指導の下行う
2 月には夜間星空観察会も行った

**成果と課題**

「みんな de おべんきょう」は口コミ等で認知度も上がり 30 年度はたくさんの児童の参加があった。関わるスタッフの数が 3 名増えたがまだまだ十分な人数に届かず高校生の協力なしでは厳しい。

「里山ジュニアくらぶ」は午前・午後の活動内容はかなり充実しているので、対象の会員を募集して参加者を増やしていく必要がある。

日常のみんな de お勉強の様子

みんな de お勉強夏のお楽しみ会

別紙様式第１１号

# 詳細事業実績報告書

| 事業番号 | ⑨ | 申請事業名 | 自然・環境・歴史部会 |
|---|---|---|---|

**具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）**

◎夏の親子自然体験ｉｎ金ヶ崎公園 part10
・実施日 7 月 28 日　・開催場所　金ケ崎公園　・参加者 54 名
・内容　ザリガニ釣り
◎春の親子自然体験 in 金ヶ崎公園 part11
・実施日 10 月 20 日　・開催場所　金ケ崎公園　・参加者 48 名
・内容　枯葉・小枝・ドングリなどを使ってウッドクラフト作成。
◎金ケ崎公園の観察及び里山整備
・実施日、原則毎月第一土曜日。
・内容　エコウイングあかしのサポートを受けながら、午前中は観察会、午後は公園整備。
◎金ヶ崎公園内の伐採木を利用した「マキ割り」作業
・実施日 10 月 27 日、12 月 7 日
・目的　魚住小学校内に備蓄（災害時等に利用）
◎地域の史跡アピール（立て看板設置）
・3 月 19 日　「古代山陽道　邑美駅家」跡
◎部会研修小旅行
・実施日 6 月 15 日　・開催場所　龍野城周辺　・参加者 10 名
・内容　三木露風とヒガシマル醤油が有名な龍野城下町を歴史散策
◎冬の星空観望海
・実施日 2 月 9 日　・開催場所　魚住小学校運動場　・参加者 19 名
・内容　明石天文科学館の出前講座活用。

**成果と課題**

◎親子自然体験イベント
・内容と広報活動を工夫して参加者増に取り組む。
◎金ケ崎公園観察及び里山整備
・金ヶ崎公園（里山）の大切さを発信し、地域住民との連携を進める。
◎地域の史跡アピール（立て看板設置）
・次年度は、看板設置場所を巡るウオーキングイベントの開催を考える。
◎各部会間で協力できる新たな事業及びリニューアルを考える

別紙様式第１１号

# 詳細事業実績報告書

| 事業番号 | ⑩ | 申請事業名 | 広報紙 |
|---|---|---|---|

**具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等）**

広報紙を４回発行

広報紙第 17 号　2019 年（令和元年）6 月 17 日　　A3 両面　フルカラー　全戸配布

～内容～

2019 年度　まちづくり協議会の役員紹介と会計報告

新事業のスタート紹介と年間行事のお知らせ

広報紙第 18 号　2019 年（令和元年）10 月 23 日　　A4 両面　フルカラー　全戸配布

～内容～

敬老会・うおずみ祭り開催のご報告

喫茶くすのきのモーニングのお知らせ

うおずみ祭りで作成したくすのんアートを紙面にて披露

広報紙第 19 号　2020 年（令和 2 年）2 月 5 日　　A4 両面　フルカラー　全戸配布

～内容～

左義長開催のご報告

防災懇談会についてのご報告

広報紙第 20 号　2020 年（令和 2 年）3 月 25 日　　A4 両面　フルカラー　全戸配布

～内容～

2019 年度を振り返って会長・小学校校長・部会長あいさつ

2020 年度の行事予定周知

**成果と課題**

成果

・すべての回においてカラー印刷にすることによって彩りよく、見やすい物が作成され、地域住民にもまち協だよりが浸透している

・様々な媒体（紙・まちナビ AKASHI・まちづくり協議会公式 LINE）を通して発信しているため、多くの人が情報入手しやすい環境が整ってきつつある

課題

・自治会に加入していない人にどのように情報を発信していくのかの検討

・広報紙を通してまちづくり協議会の活動が地域住民にとって手のとりやすい気楽に参加できるような紙面作りを心がけていく

別紙様式第１１号

# 詳細事業実績報告書

| 事業番号 | ⑪ | 申請事業名 | 事務局運用費 |
|---|---|---|---|
| 具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等） | ・総会、役員会、自治会連絡会、部会活動がスムーズに行えるように、資料の作成、準備案内、活動場所の確保等の調整とフォローを行った<br>・まちづくり全体事業の準備、運営等の活動<br>・まちづくり活動における必要機材、備品購入<br>・市や関連機関への補助金の申請と報告<br>・2019 年度　コミセン施設管理移管に伴う準備等 | | |
| 成果と課題 | ・５月の総会、毎月開催の役員会、自治会連絡会の資料等の作成、準備、場所の確保等の活動フォローはできた<br>・部会主催の活動のフォローも行った<br>・次年度も今年度と同じように進めればと、ただし部会活動については、予算立て、執行運営が部会で行えつつあるので、引き続きフォローしていきたい<br>・コミセン施設管理は概ね問題なくできた。施設管理に伴う書類作成等少し戸惑うこともあるの<br>で事務職員でフォローしながら行いたい | | |

別紙様式第１１号

# 詳細事業実績報告書

| 事業番号 | ⑫ | 申請事業名 | 事務局員人件費 |
|---|---|---|---|
| 具体的な内容（実施日、場所、内容詳細、参加者数等） | まちづくり協議会の事務局員としてまちづくり協議会の業務およびコミセン施設管理業務を行った。<br>コミセンの開館に基づいて就業 | | |
| 成果と課題 | コミセン施設管理業務とまちづくり協議会の業務を行った<br>コミセン施設管理は今年度からの業務だったのとコロナウィルスによる活動自粛等があり戸惑うことも多かった。<br>7 人が連携をとってスムーズな管理業務とまちづくりの運営を行えるようにする | | |